

第3回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会 議事録

1 日時

平成28年1月21日（木） 13時30分～15時30分

2 出席者

（委員）小林勝衛委員長、山田睦子委員長職務代理者、小池幸夫委員、堀信幸委員、味戸裕幸委員、佐藤恭央委員、安藤政則委員、古川雄二委員、高橋裕三委員、三村成子委員、野崎靖之委員、長久保重行委員、小林成吉委員

（泉崎村）村長、副村長（以下事務局）

総務課長、総務課企画財政グループ長、総務課企画財政グループ主任主査

3 議題

（1）泉崎村人口ビジョン（素案）について

（2）泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）（素案）について

（3）今後のスケジュール

4 決定事項・確認事項

（1）人口ビジョンについては、2060年に4000人程度の人口を確保、2030年に合計特殊出生率2.10を達成、それから、2045年までには社会減を増に転換という将来展望で決定した。

（2）地域創生・人口減少対策で取り組む施策それぞれの数値目標、方針、課題、重要業績評価指数などについて協議し、各委員から意見が出された。

（3）平成28年2月23日開催の第4回委員会で総合戦略の最終確認をするとの説明が事務局からあった。

5 発言者名、発言者ごとの発言内容

以下のとおり

司会(総務課企画財政グループ長)	<p>ー開式ー</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から、第3回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を開催いたします。</p> <p>始めに、泉崎村長久保木正大よりご挨拶申し上げます。</p>
村長	<p>ーあいさつー</p> <p>皆さん、本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>今回の計画につきましては、国の指示のもとに、全国的にこういった委員会を設けているところでございます。非常に重要な、泉崎村にとってのこの委員会は、私は、重要な、大事な委員会と位置づけております。</p> <p>来月まとめて、国の方に計画書を提出するということになっておりますけれども、その後5年間を中心にですね、それを具現化していくという作業をすることになっております。</p> <p>どうか皆さんには、ずっと見守っていただいて、そしてまた、数値を検討いただいて、検証いただきながら、これから進めてまいりたい。</p> <p>28年度になりましたら、計画書を出した後は、これを具現化していくということが必要になっていく、待たなしでございまして、1日も早く、28年度早々から、いろいろな提言に基づいて、我々行政は具体化してまいりたいと思います。</p> <p>今日もいろいろ優先順位、或いは早急にやるべきことも含めて、皆さんに意見を出していただいて、我々その意見を優先的に尊重しながら、これから行政を進めて参りたいと思っております。</p> <p>いろいろと私ども、各市町村、白河、或いは西白河郡の町村会等で、首長と会合することがございますけれども、やはり真剣に考えております。</p> <p>ただ、方向性については、地域性もございまして、方向性は似かよっているというのが実感でございます。その中でも、いかに我々の地域の特徴を出していくか、そして、具体化をしっかりとっていくということが私は大事なのだらうと思っておりますので、どうか皆様方の貴重なご意見、ご指導等を宜しく願いしまして私の挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>今日はどうぞ宜しくお願いいたします。</p>

<p>司会</p>	<p>続きます、小林委員長様からご挨拶を頂きたいと思います。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>皆様、こんにちは。大変足下の悪いところご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>比較的、年末年始暖かい状況で、今年は暖冬だと思っていたのですが、18日の日には大雪で、村内でも、17棟のビニールハウスが倒壊したと、被害に遭われた農家の皆様には心からお見舞い申し上げます。</p> <p>先ほど村長のお話の中でもございましたように、本日で3回目ということで、来月はもう素案をまとめるということになります。</p> <p>村長さん、どこの会議に行っても、大変重要な会議と位置づけておりまして、ことごとく村民の方には報告しておりましてございます。</p> <p>今年初めてということでございますが、3回目でもございまして、来月はぜひ皆様のご意見をまとめて、この地域創生の人口減少対策委員会の答えを出していきたいというふうに考えておりますので、今日、まち・ひと・しごと総合戦略の素案について、事務局から説明がございまして、委員の皆様におかれましては、忌憚のない自分のお考えを、述べていただきたいと思います。私の挨拶といたします。ご苦労様でございます。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。続きます、次第の議事に移ります。</p> <p>ここからの進行は小林委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>—議事—</p> <p>それでは早速、議事に入りたいと思います。進行の方をさせていただきます。</p> <p>まず、人口ビジョンの素案について伺いますが、前回の会議において、事務局の方から一人一人説明を受けて、意見を頂いたとこととでございますが、特に37ページの将来展望については、2060年の人口目標や2030年の合計特殊出生率が書かれております。</p> <p>これらについて、再度、ご質問、ご意見があればお伺いしたいと思います。</p> <p>特にご意見がないようでしたならば、人口ビジョンについては、委員会として了承したと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、皆様、37ページをお開き願いたいのですが、この右</p>

上に、グリーンの所で将来展望という所で、2060年に4000人程度の人口を確保、2030年に合計特殊出生率2.10を達成、それから、2045年までには社会減を増に転換、社会増に転換したい、ということですが、この数字に関して、どうですか皆さんの考えがありましたら。

委員の皆様方は、了承したということで、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

小林委員長

ありがとうございました。

次に総合戦略についての協議に入りたいと思います。

総合戦略については、前回、基本目標ごとに事務局から説明を受けたところですが、本日は、施策それぞれの数値目標、方針、課題、重要業績評価指数などについて協議をしたいと思います。

本日お配りした素案には、前回協議した素案に数値目標や指数を入れたものになります。本日お配りした素案をご覧頂きたいと思います。

それでは、基本目標1、ひとを育むについて協議をいたします。

まず、数値目標及び具体的な施策の重要業績評価指数について、事務局、説明を願います。

総務課企画財政グループ主任主査

はい、それではまず、基本目標1、ひとを育むの数値目標についてご説明をします。

数値目標は出生数と婚姻数の2つを設定しています。

出生数の方は平成31年度に47人と考えております。平成26年度は47人でしたので、同程度の数字を確保したいと考えております。

人口が減少していくことが想定されていて、同人数を確保するという事は、出生率が上がる方向の目標の設定になります。

続きまして、婚姻数につきましては、平成31年度に100組を目指します。

平成22年から平成26年までの平均の婚姻数が98組ですので、これもかなり高い目標と考えております。

続きまして、下の方に移りまして、政策の枠組み(1)①非婚化晩婚化対策として、KPIとして婚活イベントの実施回数、その参加者数ですが、平成27年は3回開催しまして、泉崎村の方が10名参加しておりますので、平成31年度に同じく3回開催しまして、参加人数は倍の20人を確保したいと考えております。

続きまして②子育て環境の整備のK P Iなのですが、次のページ7ページの上の方になりまして、幼児定期健診受診率の現状、平成27年の受診率が94.7%ですので、これを平成31年度に98%にしたいと考えております。

その下にあります多世帯同居世帯数なのですが、住民基本台帳と戸籍をあたってカウントしようと考えたのですが、実際にカウントしてみると、大変把握しづらい数字といいますか、手作業でやらなくてはいけなくて、なかなか把握するのが大変だということで、今回、できれば、削っていただきたいと考えております。

続きまして③学習教育の場の充実のK P Iなのですが、こちらはプチスクール土曜学校の実施回数なのですが、平成27年度の実施回数が47回の予定です。これは5月から3月末までの回数が47回ですので、31年度は、4月から3月末まで開催するとして51回を考えております。

続きまして、健康教育・食育の小中カリキュラムへの導入となっております、これは未導入だったのですが、平成31年度には導入したいと考えております。

次が④経済的支援の推進のK P Iなのですが、次のページ、8ページに移りまして、上段になります。

経済的理由による高校への非進学者数なのですが、今年、経済的理由によって進学をあきらめた方はいらっしゃらなかったもので、来年もそれほどはいないのかなと考えまして、ここのK P Iについては削除したいと考えております。

続きまして、特定不妊治療費助成受給者の出生数なのですが、今年、1人生まれました、引き続きこういった助成を進めていき、平成31年度には2人生まれるのを目標にしたいと考えております。

続きまして⑤ワーク・ライフ・バランスの推進につきましては、K P Iとして、ワーク・ライフ・バランス優良企業の認定数で、これはまだ事業が始まっていないので、現状は0で、平成31年度までには1社を認定したいと考えております。

以上で、基本目標1の数値目標とK P Iの説明を終わります。

小林委員長

ただいま、数値目標及び重要業績評価指数について、事務局より説明がございましたが、数値目標、主な取り組みについて、皆さんからご意見をいただきたいと思っております。

はい、長久保さん。

長久保委員

8ページの主な取り組みで、幼稚園、保育所の保育料の無償化が

<p>小林委員長</p>	<p>ありますけど、第1回目から話がでていますが、私は賛成です。</p> <p>若い方々の経済的負担を少しでも軽減するということは、子育て、若い人が定住することになると思うので、幼稚園、保育所の保育料の無償化は1番先にやっていただく事業かなと思っております。</p> <p>それと、付け加えて、もうちょっと進んでいただければと思うのは、義務教育までの給食費の軽減、現在の給食費をもうちょっと下げていただければ、経済的負担の軽減につながるのかなと思います。</p> <p>その辺は、何ができるのかということになるかと思いますが、当然、予算を伴いますので。</p> <p>只今、長久保さんから8ページ上段にございます、主な取り組みの中の幼稚園、保育所の無償化ということで、この件については、将来的にはではなくて、早期に実現したら良いのではないかというお話がございました。</p> <p>その他、皆さんの方からございますか。</p> <p>はい、小池さん。</p>
<p>小池委員</p>	<p>同じく8ページなのですが、ワーク・ライフ・バランスの推進でございますが、これは何か指針のようなものが出ているのですか。</p> <p>これは泉崎村独自でこういうことを企業にお願いしたいということですか。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>事務局から。</p>
<p>総務課企画財政グループ主任主査</p>	<p>ワーク・ライフ・バランスの優良企業を認定するにあたっての指標といいますか、こういったことをしなさいということは、県のほうから示されている訳ではなくて、泉崎村としてワーク・ライフ・バランスの推進に向けて取り組みを行っている企業に対して、認定と表彰といったものをして、女性に社会進出ですとか、子育てを担う世代の長時間労働を削減できればいいかなと思ひまして、この事業を進めていきたいと考えております。</p>
<p>小池委員</p>	<p>良いことだと思います。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>他にございませんか。</p> <p>はい、高橋さん。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>経済的支援の指標で特定不妊治療費助成受給者の出生数、受給者</p>

<p>小林委員長</p>	<p>が毎年、何人か生むというのを指標にしているというのは、不妊治療を受けている方というのは、その時々で、人数が変わってくるかと思しますので、そういった不安定要素のあるものを指標としていいのかと思ひまして。</p> <p>何人かいるの。</p>
<p>総務課長</p>	<p>不妊治療につきましては、期間につきましては2年間ということで、住民福祉課福祉グループで担当しております。</p> <p>2年間の病院の診断を含めるという形での不妊治療を行っておりまして、その都度、該当者が異動することがある訳ですが、子供の出生を考えたときに、その手当てとしまして、引き続き助成を行っていきたいと思ひ、上げております。</p>
<p>村長</p>	<p>ちょっといいですか。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>村長</p>	<p>不妊治療の助成の件ですが、これは泉崎村独自にスタートしております、希望者については、さっきの2年間というのは、1人2年間という期間です。</p> <p>この制度はスタートしておりまして、国でしたか、プラスアルファの部分があるのですが、それとは別に村として、独自にスタートしております。</p> <p>これは、県内、あるかどうかは分かりませんが、こういったことまで人口対策としてはやるべきだろうということで、何年か前からスタートしています。</p> <p>先ほどの1人というのは、現状が1人、これは申請があったということ、成果があったということ。</p>
<p>総務課企画財政グループ主任主査</p>	<p>1人生まれたということです。</p>
<p>村長</p>	<p>ですから、恩恵は受けていることですから、この数値を2人にしようという目標だと思うのです。</p> <p>対象は、村内全部、全域を対称にしている、なおさら、今の補助額で、満足するのかわかるころまで、検討しているのですが。</p> <p>今いくらですか、1回の治療で。</p>

総務課長	1回1万くらいです。
村長	<p>いや、10万とか20万だよ。</p> <p>目標値を更に上げようということで、金額そのものも不妊治療で悩んでいる方も結構いますから、成果が出れば、なお結構ということで、促すということでやっていきたいと思います。</p>
総務課企画財政グループ長	金額については確認します。
村長	<p>20万までいっているか分かりませんが、バックアップしようとしております。</p> <p>さらに金額については、医療費の問題もありますので、ケースに合わせて、これからもやっていきたい。</p> <p>1人から2人というのは目標として現実に実現したいと考えています。</p>
小林委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>ないようでございますが、先ほど長久保さんからお話のありました保育料の無料化。</p> <p>これはですね。将来的に実施するのではなく、早期に、ですね。</p> <p>財源が許すのならば、幼稚園の完全無料化を新年度から実践していただきたいというお話なのですね。</p> <p>人口減少対策委員会として、不妊治療のお話もありましたが、何せ、人口を、住民を増やすのは大変な仕事なのですね。</p> <p>隣の中島村では、1年前からやっていると記憶があるのですが、これは、どうでしょうね。村長。財源が許すのなら、新年度からこの無料化をやっていただきたい。</p>
村長	ちなみに、仮に幼稚園の人数からいって、どの程度の負担になるか、試算があれば、ちょっと教えて。
総務課企画財政グループ長	はい、保育料とバス代と給食費、あわせまして1245万円程度になります。幼稚園だけで。
小林委員長	これは新たな負担金額ですか。

総務課企画財政グループ長

平成27年度までは、第2子と第3子以降を全額免除、第2子半額ということで、幼稚園の保育料で163万8千円ほど既に減免をしておりましたので、それを引き算しますと1千万ちょっとの予算が必要となります。

村長

私どもも先般の議会でも子育て支援を考えたらいいだろうという意見、質問がでたものですから、そのときに資料を作ってもらった記憶ですと、例えば幼稚園以降は、全員入園する状況になっておりますので、幼稚園のところの記憶ですと、保育料が1人3000円くらいでしたから、600万弱だったと思います。

そして、給食費を負担するとなると1食200何十円なので700万くらい、全額負担しますと、現在170名弱いますので、幼稚園児が、ですから計算しますと700万弱だったと思います。

それからバス代とかがトータル130万くらいで、150万として、600万、700万、150万で1400万台が負担になるだろうというのが私の記憶なのですが、その程度が幼稚園かなと。

この前の中島村が実施しておりますので、我々も相当意識しております、矢吹町さんが28年度から真剣に考えたいということで、問い合わせが泉崎村にきているそうなのです。

教育委員会にきていて、泉崎村さんは何時ごろからと問い合わせがきているそうです。

ですから、真剣に我々も考えていきたい。1400、500万くらいのことであれば、これは家庭も非常に助かるのではないかなと、そして魅力のひとつになるのかなと、地域のありかたとして、こんなことを考えておりますので、今、これからですね、委員会の要請もありますので、担当にシミュレーションをさせまして、どのくらいのお金が捻出できるかと真剣に対応させています。

ちなみに保育所の方、中島村は保育所も全部やっています。泉崎は、財政再建計画をやっていたのですが、このことは先行しようということ。

数年前から始まっているのです。というのは、先ほどいった第2子が半額、第3子から無料にしようこれは、管内でも先行したのです。

でも、今度は、全額無料というところも出てきましたので、これにつきましては、なるべく早く実施したのですが、預けている家庭と預けていない家庭とかいろいろ家庭がありますから、まずは、幼稚園からという思いでということで執行者として考えています。

第2子、第3子の今までの援助はこれからも当然続けていきたい。

	<p>それを、給食費とかも含めて、第2弾としてどういうふうに援助していくかなと考えて生きたい。</p> <p>とりあえず、真剣に幼稚園については、2000万もいかないの で真剣に考えていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願 いいたします。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>ちょっと、よろしいでしょうか。</p>
小林委員長	<p>はい、どうぞ。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>特定不妊治療の関係だったのですが、1回15万の2回を限度に なります。</p>
小林委員長	<p>限度額15万。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>先ほどの質問の特定不妊治療の助成なのですが、1回の治療で1 5万円ほどかかりまして、年間で2回までの補助という形になって おります。</p> <p>それで生まれたお子さんが1名となっております。</p>
小林委員長	<p>先ほど、村長からお話があったように、真剣に考えていきたいと お話がございました。</p> <p>この人口減少対策委員会の全員の総意としまして、本日、この幼 稚園の完全無料化については、会の方の満場一致の総意というこ とで、早い実現をしていただきたいということで、ご異議ございま せんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
小林委員長	<p>ということで、ございますので、財源を確保してなんとか。</p>
村長	<p>はい、わかりました。当初予算を今、つめているところなので。</p>
小林委員長	<p>よろしくお願いいたします。</p> <p>それと、数十社企業が村内にあるわけですが、私の記憶では以前 に工業クラブというのが、なかったでしょうか。</p>

総務課長	各企業から会費をいただきまして、村のほうで事務局をやっていますが、工業クラブはもうありません。
野崎委員	今から7年前に解散しました。工業クラブで会費を集めていたが、何も活動していなくて、ある会社から指摘を受けまして、どうしようといった段階で、解散をしようと、たぶん村にお金を寄付したと思うのですが。
小林委員長	年会費を納めて、何も事業がないと。
野崎委員	それで止めていった会社があって、そこから指摘があって、そのために解散という形になったと思います。
小林委員長	そういう経過だったのですね。
小池委員	私どもの中核工業団地では、会をつくってあります。
副村長	中核の中には泉崎クラブとかが。
小池委員	いずみ会といいます。
小林委員長	<p>そういう企業さん同士で何かやっていただければ、いいなと思うのですけども。</p> <p>皆さんから他には。</p> <p>それでは、ないようでございますので、基本目標2について協議をいたします。</p> <p>数値目標及び具体的な施策の重要業績評価指数について、事務局説明を願います。</p>
総務課企画財政グループ主任主査	<p>それでは9ページの基本目標2、しごとをつくるの説明をいたします。</p> <p>まず、数値目標ですが、当初は新規就業者数としておりましたが、経済センサスで市町村ごとの新規就業者数を調べたのですが、ちょっと出てこなくて、新規をとしまして、単純に就業者数に変更したいと思います。</p> <p>平成26年度で4,774人おりまして、これは村外から泉崎村に働きに来る方も含まれている数字になります。その数字を平成31年度に5,500人しようと考えております。</p>

続きまして、具体的な施策の①、企業誘致による雇用の創出のK P Iなのですが、誘致企業数を1社から平成31年度までの5年間の累計で3社にしようと考えております。

この現状の1社というのは平成25年から平成27年までの3年間で1社でありまして、これを平成31年度までの5年間で3社にしたいと考えております。

続きまして②地域企業の競争力強化による雇用の創出のK P Iは次のページ10ページに移りまして、高度化資金の助成件数なのですが、現状0ですので、平成31年度に1件。

村内の商店数は現状34店、ありますので、平成31年度までに37店舗にしたいと考えております。

続きまして③若年層等の新規就業、創業への支援のK P Iが創業・起業に活用された空き家、空店舗数。これが現状3件ありまして、これを平成31年度までに5件。

次の創業・起業数が今年8件ありまして、これを31年度までに10件にしたいと考えております。

この数字にカウント仕方なのですが、村に法人の届出のあった件数になります。今年8件、法人の設置届出がありまして、その内、3件が空店舗といえますか、今まであった場所に設置された企業の数になります。

続きまして、施策の枠組みの販路拡大の①村製品の販路拡大開拓に向けた地産地消のK P Iが11ページありまして、村製品の取り扱い施設、店舗数なのですが、現状9店舗を平成31年度に12店舗にしたいと考えております。

この数字の把握仕方なのですが、日本酒の愛郷の輝きの販売店舗が6店舗で、はとむぎ茶の販売店舗が3店舗で、9店舗になっておりまして、村製品を増やすとか販売の取扱店を増やすことによって12店舗にしていきたいと考えております。

続きまして②農林畜産物の販路拡大・販路開拓のK P Iとしましては、直売所の開設数。現状2箇所なのですが、31年度までに3箇所。

県アンテナショップの村製品の取扱点数が、現状0を31年度までに1品を目標にしたいと考えております。

続きまして、未来につながる農業作りの具体的な施策の①農業生産基盤の強化といたしまして、K P Iとしては育成を対象とする農業経営対数、これは農業法人の数になります。現状5社なのですが、それを6社にしたいと考えています。

つぎの集落営農組織数なのですが、現在、そばと大豆の営農組織

	<p>数で2つありまして、これを31年度までに3つにしたいと考えております。</p> <p>次のページに移りまして、12ページの農業の6次化の推進としたしましてKPIが6次産業化による製品開発数、現状0を1つに増やしたいと考えています。</p> <p>次の農業担い手の育成確保につきましては、KPIが新規就農者数、現状4人となっておりまして、これを平成31年度までに6人と考えています。平成26年度が4人で平成27年度は0なのですが、平成31年度には6人を確保したいと考えております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
小林委員長	<p>只今、しごとをつくるということで事務局より具体的な説明がございました。皆様のご意見を頂きたいと思っております。</p>
小池委員	<p>確認なのですが、よろしいですか。</p>
小林委員長	<p>はい、どうぞ。</p>
小池委員	<p>今、最後に農業の担い手という形で26年度に4名、27年度が0という形がございましたけれども、28年から31年までで6人を増やすという目標になるのですね。</p>
総務課企画財政グループ主任主査	<p>累計ではなくて、単年度で6人と考えております。</p>
小池委員	<p>それぞれの年でということですか。</p>
総務課企画財政グループ主任主査	<p>はい、そうです。</p>
小林委員長	<p>他に、ございませんか。</p>
村長	<p>現状値4人というのは、毎年4人ということではないのでしょうか。新規就農者。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>平成26年度新規就農が4人なのです。</p>

村長	新規就農で4人もいるの。
総務課企画財政グループ長	はい、そうです。補助事業で補助金をお渡ししております、夫婦世帯もいらっしゃいますし、単身世帯もいらっしゃいます。 これを毎年4人ずつ、そして31年度には年間6人くらいに増やしたいということでの数値目標になります。
村長	28年から31年まで6人ということ。
総務課企画財政グループ長	毎年3人、次の年も3、4人、さらに次の年も4、5人と、毎年増やしたいと。 2年間の補助事業で補助がございますので、そういったものを利用しながら、増やしていきたいという形になります。 かなり、高度な数値になりますが、補助事業を利用しながら増やしていきたいという形になります。
小林成吉委員	これは、若い人ですか。
総務課企画財政グループ長	そうです。若い人です。若い方と若い夫婦が今回来ております。
小林委員長	親父さんから譲渡という形で始まったのではなくて。
総務課長	都会に行っていて、今回戻って来て継いだ形になります。
村長	年間ですね、国の制度で150万くらい援助されるのですよ。
小林委員長	Uターン。
総務課企画財政グループ長	そうです。
村長	それ、毎年。
総務課企画財政グループ長	2年間です。夫婦世帯ですと2年間で300万です。年齢制限も40位だったと思いますが、ございます。
村長	この制度が継続するという前提じゃないとかなり厳しいと思うけ

<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>ど、継続することになっているのかな。</p> <p>平成28年度予算要求があがっておりますので、継続するものと見込んで目標の方を設定させていただきました。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>耕作面積とか就農日数とかクリアする部分はあるのかな。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>条件はあると思いますが、申し訳ございません。細かいところまで、今は分かりません。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>他にございませんか。はい、佐藤さん。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>1点だけ質問なのですが、全体の分け目は分かりました、実際にそれほど極端に大きな目標だとは思わないのですけども、基本目標のしごとをつくるの就業者数なのですけども、現在4,774名から5,500名はかなり増えていると。</p> <p>例えば、かなり大きな企業が進出してくると就業者数は、かなり増えると思いますが、ここの数字だけ極端に大きいのではないのかなと思ひまして、もしその根拠があれば教えていただきたいと思ひます。</p>
<p>総務課企画財政グループ主任主査</p>	<p>はい。経済センサスの調査で平成21年度の調査の泉崎村の従業員数が3,681人で、平成26年度の5年後の数値が4,774人で1,000人以上、5年間で1,000人以上増えているので、27年度から31年度までにも、同じペースで増えることはないのだろうが、半分くらいは増えるだろうということで、5,500という目標と設定しました。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>はい、小林さん。</p>
<p>小林成吉委員</p>	<p>直売所の件なのですが、今、計画がありますよね。</p> <p>良いことだと思うので、直売所の検討をして欲しいと思います。</p>
<p>村長</p>	<p>いいですか。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>

<p>村長</p>	<p>27年度末、まだ2ヶ月ほどありますけども、それまでに建物の設計をまとめると。基本設計かな。ということで進んでいまして、いろいろな補助事業を利用しまして、商品化するための機械を揃えられるのですね。数百万のものが対象になって、福祉センターの厨房に置いている状態で、そんなことで、着々と進んでいる状況なのですが。</p> <p>あと、毎月のように直売所検討委員会ということで、何名か募っていて、その方々が毎月いろいろな、どんなことをやるのか検討している。</p> <p>あるいは研修に行ったりして、いろいろな直売所を見てきている。</p> <p>28年度で具現化できればいいなど。当初からの予算化はちょっと難しいかなと思っていますが、工業団地の販売とか、いろいろな関連があって、なるべく早く28年度に着工したいという思いを持っておりますが、実現、具体化しますというところまでは、正直まだ。</p> <p>そんな状況で1日も早く、達成化ということを考えるとそれも必要かなと考えています。そんな状況ですね。今の段階では。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>あとは場所的なことかな。</p> <p>それでは、ちょっと戻りますが、緑川の方から先ほどの幼稚園の無料化に関してのことを2、3、分かりましたなら。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>先ほど村長の方からお話のあった中身が正解でございました。大変申し訳ございません。</p> <p>保育料で5,976,000円、バス代が1,360,800円、給食費が6,958,720円ということで、14,295,000円位が必要な経費になります。</p> <p>で、私が申し上げた1240万円は、今年減免になっている数字が1,638,000円ございましたので、それを引き算すると、約1240から50万円となったのですが、トータル的には村長がお話のように14,295,000円という形になり、約1500万円でございます。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>新たな持ち出しはないのか。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>新たな持ち出しは1250万円ほどになるかと思えます。</p>

小林委員長

基本目標 2、しごとをつくるに関しては、皆様から。
ないようでございますので、基本目標 3 のひとの流れをつくるに
ついて、協議をしたいと思います。
数値目標及び具体的な施策、重要業績評価指数について、事務局
より説明願います。

総務課企画財政グ
ループ主任主査

はい、それでは 13 ページ、基本目標 3 のひとの流れをつくるで
す。

数値目標としては、移動数、転入から転出を引いた数です。これ
が、平成 31 年度に△20 人、平成 26 年度は△32 人でしたので、
マイナスの幅が少なくなるよう目標を設定しております。

続きまして、観光入込客数なのですが、平成 31 年度に 95,000 人、平成 26 年度は 87,167 人でした。

続きまして、施策の枠組み 1 の移住定住の促進の①、首都圏を中
心とした移住定住の情報発信としては、KPI が泉崎村ライフスタ
イル調査の実施、これはまだ実施されていないので、31 年度まで
には実施したいと考えています。

次の泉崎ライフスタイル冊子の作成なのですが、まだ作成してい
ませんので、31 年度までには作成したいと考えています。

次のページに移りまして、②地域のニーズに対応した移住者受け
入れ態勢の構築なのですが、KPI として、奨学金の減免者数、現
状 0 となっていますが、現状はそもそも減免する仕組みがまだ整っ
ていませんので、そういった仕組みを作りまして、平成 31 年度ま
では 3 人を目標にしたいと考えております。

地域おこし協力隊の受け入れ数なのですが、こちらは制度が整っ
ているのですけれども、泉崎村として、まだ募集をしていないこと
もありまして、現状は 0 になっています。31 年度に 1 人受け入れ
たいと考えております。

続きまして③住まいの確保による移住定住の促進、KPI が超寿
命化実施済み公営住宅数になりまして、現状 0 です。計画はしてお
りますが、まだ、実施している公営住宅はないので、0 となってい
まして、31 年度までに 1 棟、超寿命化を実施したいと考えており
ます。

次の若者定住賃貸住宅の建設数、現状は 0 なのですが、平成 31
年度までに 3 戸建設したいと考えております。

次の④交通利便性の向上なのですが、こちらは、KPI と
して、スイカの設置、現状泉崎駅は無人駅でスイカが設置されてい

ませんので、平成31年度までにスイカの設置をしたいと考えております。

高速バス乗降所の設置なのですが、現状はまだ0なのですが、平成31年度までには、東北自動車道の矢吹インターの所に車の待機所がありまして、そこに、高速バスの乗降所を設置する方向で今検討が始まっております。

続きまして⑤郷土愛の醸成なのですが、KPIとして、村産品を活用した給食のメニュー数と最初はしていたのですが、メニュー数だと膨大な数になってしまうので、給食の延べ回数にしたいと思います。

現状としましては、月33回ほど提供しておりまして、お米ですとか、はとむぎ、その他、豚肉、シイタケ、味噌などを提供しております。その回数を月45回にしたいと考えております。

次の魅力発見ワークショップの実施なのですが、これはまだ実施していないので、31年度までには、実施したいと考えております。

施策の枠組みの(2)観光振興による人の流れの促進の①国内外からの観光誘客、KPIは次のページ16ページに移りまして、SNS対応ホームページへの平均アクセス数、現状0となっているのは、現状、村のホームページはSNS対応になっていませんので、今、SNS対応に向けてリニューアル作業をやっている途中でありまして、そのリニューアルが完成すれば、平成31年度に1日100回のアクセス数を目標にしたいと考えています。

次の観光地の再生のKPIが観光モデルコースの策定、現状、未策定ですので、平成31年度までに策定をしたいと考えております。

次、施策の枠組み(3)、観光交流の基盤となるスポーツ、文化の振興、①スポーツによる地域の振興のKPIは、スポーツ合宿の誘致数、これはカントリーヴィレッジのスポーツ合宿の誘致した団体の数になっていまして、現状119団体、平成31年度までに150団体を考えております。

スポーツ推進員の育成、現状11人いますが、31年度までに15人にしたいと考えております。

続きまして②地域文化財民俗芸能の保存継承のKPIが、文化財マップと説明版設置数とありまして、説明版設置数なのですが、ほぼ村内の観光施設というか文化財の所には看板が設置されておりまして、改めて増やすのも必要ないかなと考えまして、文化財マップを作成するという目標にしたいと思います。

次の文化活動団体数なのですが、現状は6団体ありますので、これを31年度までに8団体にしたいと考えています。

	<p>以上で、説明を終わります。</p>
小林委員長	<p>只今、数値目標及び具体的な施策、重要業績評価指数について、説明がございましたが、皆様から、ご意見がございましたら。</p> <p>はい、長久保さん。</p>
長久保委員	<p>⑤郷土愛の醸成のK P Iの中で、給食の延べ回数で月33回を月45回、これは月33回を現在やっているわけ。</p>
小林委員長	<p>はい、事務局。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>これは、延べ回数ということなのですが、月33回と申し上げますのは、村のお米を使ったのは12回、はとむぎが1回、シイタケ2回、豚肉、味噌、といった地元のものを使っている回数ですね。これをトータルで月33回というのが現状でございます。</p> <p>これをもっともっと地場産品を使ったものを増やすということで、月45回程度にもっていければなというところでございます。</p>
長久保委員	<p>品目ということ。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>はい、そうです。品目です。</p>
小林委員長	<p>1ヶ月33回では、学校、休みもあるのに、20日くらいで、それで33回では、どこで給食を出すのかなと。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>申し訳ございません。産品の利用回数ということでございます。</p>
小林委員長	<p>14ページですね。住まいの確保というところで、若者定住賃貸住宅建設数。これは、27年度で1つやる。</p>
村長	<p>まだ、少し遅れていて、進行中か。</p>
総務課企画財政グループ長	<p>まだ、完成していません。</p>
小林委員長	<p>27年度で。</p>

<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>はい、1棟ということで、今、進めているところでございます。 28年度の要求の段階でございますが、そういったものを継続して進めたいという担当課の意向でございます。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>28年度にも1棟くらいは計画が。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>今、予算要求の段階ですが、担当課ではそういった意向があるということでございます。</p>
<p>村長</p>	<p>ちょっと、これ説明させてください。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>村長</p>	<p>若者向け定住賃貸住宅建設ということなのですが、今、27年度で、進行中で、間もなく完成、1棟、するのですが、場所は天王台ニュータウンに作っております。</p> <p>村の所有地が40ちょっと残っているものですから、若干、遠めの所の土地を利用して、今、25坪くらいの家を作って、賃貸住宅を作っているのですね。</p> <p>大体、子供さん2人いるということを条件にして、これから募集をかけたいと。このときに、月に4万くらいの家賃設定をしたいと考えていますね。</p> <p>すると大体、年間、50万位として、年間の収入がですね。20年間住み続ける、あるいは20年後にこの土地、住宅を無償で提供しますよということを考えています。</p> <p>ですから、その間ですね。一般の借りで、村に払っているのではなくて、20年のローンを組むという感覚で、住んでいただきたい。</p> <p>それで、なおかつ2人という子供さんがいることで考えています。大体、100万くらいの建設費が減少するのですが、それを上回る効果があるだろうと。住んでいただくわけですから。</p> <p>そして、子供さんたちは、もちろん、故郷になるわけです。</p> <p>そんなことを考えて、というのは、勤めている方が比較的、安定している企業に勤めている。あるいは、10年以上定着している方については、ローンを組み易いですが、それ以外の方は、なかなか今、土地を担保にするといってもお金を貸してくれないのですね。</p> <p>ですからマイホームがなかなかできないと、そんな若者は家賃を</p>

	<p>払っているだけで、マイホームのローンを払っている感覚になってもらえれば、それで、自分のものになるという感覚なのです。</p> <p>これは天栄のほうで成功しているのですが、そのようなことをスタートさせたいと考えております。</p>
小林委員長	<p>委員の皆さんから、ご意見がございましたら。</p> <p>はい、山田さん。</p>
山田委員	<p>質問と確認なのですが、企業の方の中に住宅を紹介するような住宅部門のようなものは存在するのですか。</p> <p>働いている方に物件を基本的に、集めてある物件を相談できる窓口みたいなものがあるのか。</p>
小池委員	<p>私どもでは、ないです。</p>
堀委員	<p>うちの会社のないですけども、聞かれた場合に総務が探す、みたいな形ですね。</p>
山田委員	<p>企業によっては、住宅物件があって、物件をそこに預けておくと、不動産屋さんのような、そこを心配してくれるという企業さんもあると思うのですが、せつかく、今村長さんが言ったように、住宅を作っているとか、若い人向けに手厚くこういうことができるようになってきているとか、そういう部分で、13ページの主な取り組みの中に相談窓口の充実とあるのですが、この窓口を役場の中だけに置くのではなくて、外部から、泉崎にお住まいの方は、あれですけど、外部から泉崎にある企業に通ってきている方が、例えば、新しい住まいを探す、前回のことにも通じるのですが、結婚されて、家探しをするときに、泉崎村の中で窓口相談をそこでさせていただくことを、一部、作らせていただくのであれば、もうちょっと広がっていくのかなと、具現化していくときに、何かそういう部分で、住宅部門をもっている企業さんがあればなんですけど、そういう部分では可能になってきますか。</p>
小池委員	<p>現状ではほとんどがこの近辺に住んでいる方なので、特に住宅の心配はしていないのです。住宅を探しているような人には有効かもしれませんね。</p>
山田委員	<p>そういう方を増やそうという施策を作っていくのだとすれば、そ</p>

<p>小池委員</p>	<p>ういう部分があって、企業の中にそういうセクションがあれば、不動産屋さんに行ってしまうと、泉崎の所を紹介してくれるとは限らないわけですよ。</p> <p>だから、泉崎村をメインで紹介してくれるのだったら、そういう部分もあるのかなって。</p> <p>これは村の方から企業にPRしていただければ。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>先ほどの直売所、もし、直売所ができたらね、総合的な村の案内所のようなコーナーも可能だと思うのですね。</p> <p>それから、このスポーツ振興で合宿なんですけど、これを拡大していくには、陸上競技場を早くね、プレコンパックの持ち出しが雪のために1日遅れて、試験が始まったのですね。</p> <p>1台に6つ、1万数千個、何年かかるのか。原発事故で、こんなことになったけど、早くね、陸上競技場、立派なのがあるのだから、綺麗にしてスポーツ振興。</p> <p>それから、三村さんかな、前に峠山の鳥峠稲荷神社の件なのですが、文化財ですね。地域の文化財、民俗芸能の保存と継承、これも、立派な鳥峠稲荷神社があるのですが、何か手を考えないとね。かなりの彫り物なのです。本殿は、それを含めて立派な社殿があるのです。何か今は手付かずのような感じなので。</p>
<p>村長</p>	<p>中目さんの方で、社務所とか、いろいろな整備を考えてくれるとありがたいなと考えているのですが、あるいは、氏子のほうで、そのような動きが、あればありがたいな。それと、連動しながら、やればなと思っていますけど、そっちの動きは残念ながら、ないのだから。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>前の氏子の生田さんら会長で、一生懸命だったのですが、なくなったのです。</p>
<p>村長</p>	<p>確かに、文化財があるのですが、どうもアピールし辛い。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>それからですね、14ページの主な取り組み、住まいの確保による移住定住の促進の下に、定住土地無償譲渡とうたっているのですが、以前に、中島。</p>

副村長	東村で、やったことがあるのですね。前に、何十年か前ということになるのでしょうか。結局、そこに定住するという条件で、建てていただいて、土地は無償であげますよと。
小林委員長	<p>これは、私、前から言っているのですよ。村長さんに。とにかく、幼稚園生、幼稚園くらいの子供がいる。いろいろ条件はあると思いますが、それから泉崎に15年ないし20年定住する。というような条件で、土地は、結構村内に荒れた土地があるのですね。</p> <p>もう、農家の方が余してしまって、農業委員会でも困っているのですけども、耕作放棄地が増えてしまって、そういう土地を、何とかその、人口を増やすにはそういう施策も必要でないかなと。</p> <p>村長と前に喋ったことがあるのですが、1区画40坪位で、住んでもらって、一所懸命働いていただいて、収入を得て、子供幼稚園に預けてね。そういう思い切った施策をしないと、本当に平成62年か72年に人口4000人を割ってしまうような感じになってしまうと思っているのですけど。</p> <p>皆さんはどう思いますかね。この土地の無償譲渡。これは新年度からやるよという訳には行かないと思いますけど。長期的に。</p>
村長	可能性のある場所としては、会長も頭の中にあると思いますが、谷地久保の団地の所ですね。1棟ずつ何人か住んでいるものですから、なかなか出て行けと言えないものですから。
三村委員	促進住宅は空いていないのですか。促進住宅にまず引っ越してもう訳にはいかないのですか。
小林委員長	そういうことも考えて、例えば、1棟に寄せる。今、真ん中に1世帯だけあって、壊せないですね。それを1棟に寄せて。
三村委員	白河の方から来ると、あそこのぼろは何なの、あそこに住んでいるの。住んでいないのとか聞かれても、何とも言いようがないけど、本当に、綺麗な建物が建っている訳でない。
小林委員長	元の中央産業の方から入ってきますと、スラム街といいますか。
三村委員	あそこを見ると、掘っ立て小屋みたいなのが、何棟も並んでいて。
小林委員長	副村長、あそこは何世帯くらい、入っているの。

副村長	<p>世帯数は分かりませんが、今、言ったように、1棟に集めると。家賃が何千円単位ですから、あそから出て他所のアパートに住むとなると非常に厳しい状況になる。</p> <p>ですから、今、空いている所に移るということを推奨していくしかない。その時に、移動手当てじゃないですけども、引越し代を含めて払って、移動してもらう対策をとるしかないですけど。</p>
村長	<p>雇用促進の所は、意外と人気があって1室か2室しか空いていないのですね。</p>
三村委員	<p>その何千円の家賃を払っているのですか。ただで住んでいるという噂があるのですね。お金を払っていないと言っている人もいるね。</p>
小林委員長	<p>今は分かりませんよ。前は、何年も払わなくて、居た方もおります。これは前にも議会で話しが出なかったですか。</p>
村長	<p>大至急、確認して。</p>
小林委員長	<p>前の谷地久保団地を整備して、何年かかるか分かりませんが、やはり、人口増加に繋がるのならば、子供のいる方、10年、15年移住できる方にはね、土地代はいいと。</p> <p>家を建てていただいて、村内の企業に勤めていただければ、万々歳でございます。こういう施策も考えていきたいということですね。</p>
村長	<p>はい。引越し代とか考えても、土地は村のものですからね。解体も大してかからない。</p>
小林委員長	<p>東団地の方、それから、旧雇用促進に入っている方の環境も良くなるからね。</p> <p>それでは、ないようでございますので、次に基本目標4の安心を作るについて、協議をしたいと思います。</p> <p>事務局、説明願います。</p>
総務課企画財政グループ主任主査	<p>はい、それでは18ページになります。基本目標4、安心をつくるです。数値目標としては、自主防犯組織数、括弧して率とあったのですが、率をとりまして、平成31年度に、今のところ、組織数、1団体もありませんので、1つの団体は作りたいと考えております。</p>

次の地域密着型サービス利用者数、平成27年度2人となっていて、平成31年度に29人となっているのは、現在、泉崎村の中に、地域密着型サービスの提供施設がありませんので、泉崎の村民の方が、他の市町村で利用している方が2人いるということで、地域密着型サービスの施設ができると、そこの定員が29人ですので、29人と目標を設定いたしました。

続きまして、暮らしの安全・安心の確保①、地域コミュニティの再生と活性化のKPIなのですが、世代間交流事業数、現在が3事業で、これを31年度までに5事業に増やしたいと考えております。

次のふれあい号の利用者数ですが、現在は2017人のところを31年度までに2500人、これは年間の数字になります、年間2017人を2500人に増やしたいと考えております。

次の②空き家等対策の推進のKPIが、空き家調査の実施、これはまだ実施していませんけども31年度までには実施したいと考えておまして、空き家調査を実施しまして、その結果、空き家バンクの登録件数というのがあります、現在0なのですが、31年度までに10件に増やしたいと考えております。

次の地域防犯防災力の強化のKPIが消防団員数、現在241名なのですが、31年度でも同じ数字になっていますが、消防団員数は年々、幽霊団員といいますが、なかなか出てこない団員もいらっしやって、この241をキープするのも大変だということで、同じ数字をキープできればということで目標としています。

次の災害時応援協定の締結数、現在3つ締結しておまして、これを31年度までに1つ増やしたいと考えております。

次の④公共施設等の戦略的な維持管理としては、次のページ、KPIが公共施設実態調査の実施、これ、まだ実施していませんので、平成31年度までには実施したいと考えております。

クラウド化の実施なのですが、このクラウド化は情報関係のクラウド化の実施になります。現在、まだ実施していませんけども、31年度までには、実施をしたいと考えております。

次の医療と福祉の充実連携①、介護離職0の推進としまして、KPIが小規模多機能型居宅介護事業所数というのを考えていたのですが、地域密着型特別擁護老人ホーム数に変更したいと考えております。この地域密着型の老人ホームは現在建設に向けて動いている状況で、現在は0ですが、31年度までに1つと目標を設定いたしました。

次の地域医療の充実のKPIが広域的医療機関との連携事業数、現在0なのですが、31年度までには1つの事業を実施したいと考

<p>小林委員長</p>	<p>えております。</p> <p>次の地域医療における福祉の支えあい活動の促進、KPIとして、ボランティアリーダーの育成数、現在、ボランティアリーダーの育成数は0なのですが、31年度までに2人育成したいと考えております。</p> <p>ボランティア団体数につきましては、現在8団体活動していますが、31年度までに10団体にしたいと考えております。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p> <p>はい、只今、数値目標及び具体的な施策、重要業績評価指数について、説明がございました。委員の皆さんからご意見がございましたならば、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>今、団長さん、泉崎村で241人というのは、どうなのですかね。勧誘して、苦勞しているということもある。</p>
<p>小林成吉委員</p>	<p>正直、新入団員は年々減っている。減っているのですが、消防団のOBを中心にもう一度、入ってもらって活動してもらおう状況です。</p> <p>前までは消防団員の年齢が45で退団だったのですが、これを取り払いまして、何歳でも入っていいよ。最後までというのは少しおかしいですが。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>他に、皆さんからごさいませんか。目標の4、安心については。長久保さん、どうぞ。</p>
<p>長久保委員</p>	<p>この地域医療の充実、20ページところですが、初回の会合から話が出ているように、人口を増やすときに、どちらかという若い人に子供が増えないと人口が増えていかないという話しであったと思うのですが、その中で大事なものは教育と医療でないかというお話しがずっと出ていたと思うのですが、現在は南東北さんが村内に病院、診療所があるのですが、やはり、病院にも働きかをして、あるいは、この辺の町医者といっは、申し訳ないのですが、矢吹あたりの、小さい子供は見てくれないのですね。小児科に該当する子供は。</p> <p>ですから、その辺を、南東北さんあたりをお願いをして、連携した病院に手配ができるというようなことができれば、非常に安心。</p> <p>特に若いお母さん方が、安心していられるのではないかと思うのですが。</p>

小林委員長	小児科ね。
副村長	これは広域連携の中で、委嘱することに対応するために、厚生病院、あるいは、福島医大、というふうなことで、先生を派遣していただこうと、今、取り組みはやっているのですが、なかなか、医師がこっちに来て、やりましょうという話しに、なかなかなくてこないという現状で、取り組みは実施中でございます。
小林委員長	他に、ございませんか。 はい、三村さん。
三村委員	21ページのボランティアリーダー育成というのが、現状で0が31年度2人というのは、どういう形のリーダー育成になるのでしょうか。
総務課企画財政グループ主任主査	はい、ボランティアリーダー養成の研修事業というのがあるのですが、村民の方を募集しても誰も応募してこないのですけども、そういった研修に参加する人がいなかったということなのですが、積極的に、リーダーになってくれる人をこちらから見つけて、声かけをして、そういったものに参加してもらって、リーダーとして活躍してもらいたいと考えております。
三村委員	県の方でやっている事業にそういうものがあるのですか。
総務課企画財政グループ主任主査	すみません。どこでやっているかまでは調べていませんでした。
小林委員長	そういう風に村から選抜して、県なり県南なりの研修会に、役場職員のOBなんて、行ってもらったほうがいいよ。パークゴルフで遊んでばかりいるのがいるから。 パークゴルフが今、すごいですね。115人、会員、愛好会ができたのですね。かなりの数になって。 これは観光客には、該当しないのか。村外からパークゴルフ場に来たときに。
総務課企画財政グループ主任主査	観光客の入込数にはカウントさしていないと思います。

小林委員長	入浴者も。村外からの。
総務課企画財政グループ主任主査	泉崎カントリーヴィレッジの利用者が、今回、人口ビジョンで計上している観光客の入込数になっているので、カントリーヴィレッジの方でパークゴルフの利用者をカウントすれば、そこにあがってくるのですが。
三村委員	会に入っているのは、会費、年に2000円で、泉崎村内の人だけでしょう。
小林委員長	<p>愛好会は村内です。全部。</p> <p>それでは、ないようでございますので、基本目標5のまちをつなぐについて、協議をしたいと思います。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
総務課企画財政グループ主任主査	<p>はい。それでは22ページ、最後のページのまちをつなぐの数値目標なのですが、前回、訂正いただいたとおり、交流都市数ではなくて、定住自立圏協定に基づく事業数になります。</p> <p>平成27年度では16事業をやっております、これを31年度までに41事業に拡大したいと考えております。</p> <p>白河地域定住自立圏構想の推進のKPIが白河地域定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組み数、現在16事業を41事業にしたいと考えております。</p> <p>現在実施している16事業なのでけども、白河地方広域圏で実施しているし尿処理ですとか広域消防ですとか、そういった関係の事業が含まれているので、始まったばかりですが16事業もやっているような感じになっています。これを31年度までに41事業に拡大していきたいと考えております。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>
小林委員長	はい。皆さんからご意見がございましたならば。
長久保委員	白河地域定住自立圏構想はどれくらい進んでいるの。
副村長	今、項目を出しているのは具体的な事業名だけで、これをやりますよと言っているのですが、これを今、実現しているような状況ではない。

<p>小林委員長</p>	<p>このまちをつなぐ、基本目標5以外にも、今、1からずっと説明があったのですが、気がついた点がございましたなら。 ないようでございますので、基本目標の1から5までご審議をいただきました。ありがとうございます。 この他に事務局からなにかございましたら。</p>
<p>総務課長</p>	<p>はい。いろいろありがとうございました。基本目標の1から今まで、いろいろとご意見をいただきましてありがとうございました。 これから、今までいただきましたご意見、ご要望、また、数値目標等具体的なものにつきまして、この計画書に反映をしまして、この次の会合のときに修正案としてもう一度提出したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>総務課企画財政グループ長</p>	<p>今後のスケジュールということで、本日第3回、次回第4回という形になります。 前回、第4回目の日程を2月22日月曜日と申し上げましたが、大変申し訳ございませんが、事務局の都合で、2月23日火曜日に変更したいと思っておりますので、よろしくお願したいと思っております。 次回につきましては、本日、人口ビジョンにつきまして、最終的な確認をいただきました。確認をいただきましたので、人口ビジョンにつきましては、素案という形の素案をとらせていただく形でご提出させていただきます。 また、総合戦略、こちらにつきましては、今ほどご審議いただきました中身で削除する部分、ございますので、それを削除しながら、新たな、削除しまして、もう1回作り直すという形で、再度ご提出させていただきます。次回の会議の時には、素案と言うものをとらせていただくような中身のご説明をさせていただきたいと考えてございます。 以上でございます。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>他にないようでございますので、以上で総合戦略素案についての協議を終了したいと思います。 次回の会議において最終確認をさせていただきますので、よろしくお願申し上げます。 以上をもちまして、すべての議事を終了させていただきます。委員長ごの任を解かせていただきます。 ご協力ありがとうございました。</p>

司会	<p>－閉会－</p> <p>小林委員長、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第3回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p>
----	---